

令和5年 千葉市議会第2回定例会

蓮華亭のハス



元気発信！花見川！

【主な役職】

立憲民主党千葉県総支部連合会副幹事長 防災・減災対策調査特別委員 花見川地区保護司 花見川こうやまき自治会会長 花見川中学校評議員 花見川小学校評議員 花見川小学校評議員

だんぎ和彦

市議会 レポート

発行責任者 千葉市議会議員 段木和彦
発行所 花見川区花島町430-18
TEL 043(2558)0958
FAX 043(2886)9312
携帯 090-2325-1398
E-mail dangi.s@codacoda.ocn.ne.jp

令和5年6月7日(水)、「令和5年第2回定例会」が開会いたしました。5月には、議会での役割・所属委員会等を決めた「令和5年第1回臨時会」が開催されましたが、新庁舎においての定例会は初めての開催となります。

7日(水)から8日(木)は、各会派に分かれての議案研究が行われ、12日(月)には議案質疑が、13日(火)には5つの常任委員会に分かれての議案審査が行われ、私が所属する「教育未来委員会」においては、補正予算議案1件、請願2件の案件審査を行いました。

15日(木)から21日(水)までは一般質問が行われ、これまで一番多い36名の通告がありました。私も16日(金)に登壇させていただきました。コアフターコロナの経済活性化について「及び、「公共交通とモビリティサービスについて」の2項目について質問をさせていただきました。

最終日となる22日(木)は、今定例会に提出された議案・請願等に対する各委員長報告・討論・採決が行われた後、追加議案として農業委員会委員及び人権擁護委員の人事案件が提出されたの議案審査、最後に議員提出の発議審議(意見書)が行われ、令和5年第2回定例会は閉会となりました。

「一般質問について」

今定例会においても一般質問の通告を行い、「アフターコロナの経済活性化について」及び「公共交通とモビリティサービスについて」の2項目を取り上げ、一問一答(2回目から)で行わせていただきました。

「アフターコロナの経済活性化について」では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが、2類から季節性インフルエンザ等と同等の5類に移行したことによる行動制限緩和を契機に、もちろん感染症に対する警戒・注意は払いながらですが、コロナ禍により停滞していた本市の経済を活性化につなげていく取り組みについて、特に、増加が見込まれるイベントの開催による誘客や、国際会議等の誘致、民間との協働によるナイトタイムエコノミー支援といった取り組みや、インバウンドの取り込み等を強化し、地域の活性化や市内消費等につなげていくこと等について伺いました。

「公共交通とモビリティサービスについて」では、社会基盤のひとつ



次世代型パーソナルモビリティ「ILY-Ai (アイリー・エーアイ)」



自動運転バス走行中

である公共交通の環境や健康に対するメリットについて触れながら、一方で運転手不足やコロナ禍の影響等による乗降客減少等の厳しい経営状況を鑑み、現在、市内各所で実証実験や社会調査等が行われている、グリーンスローモビリティ、デマンド型交通、自動運転バス、次世代型パーソナルモビリティ等の、新たなモビリティサービスとの融合・共存により、市民の皆さまに対して、よりきめ細やかな交通政策を

ご提供できるのではないかとということとを念頭に置き、提案型の質問といたしまして行わせていただきました。経済対策、交通政策につきましては、今後も取り上げて参りたいと存じます。

今定例会の議案について

今定例会においては、補正予算議案2件、条例議案4件、一般議案3件の当初議案9件のほか、諮問2件、請願2件が提出されました。

補正予算は、「物価高騰への対応」として、子育て世帯臨時給付金、消費活性化・生活支援キャンペーンの

ほか、中小企業者エネルギー価格等高騰支援や、地域公共交通支援等の事業者支援、「新型コロナウイルス感染症対策関連」として、新型コロナウイルスワクチン接種のほか、「病院事業」として、新病院整備の予算が

防災・減災対策調査特別委員会

今年度より新設された特別委員会である「防災・減災対策調査特別委員会」は、今年4月に本市が災害救助法に基づく救助実施市に指定されたこともあり、近年、激甚化・頻発化する豪雨や首都直下地震などの自然災害への確実に対応していくため、防災・減災対策について調査することを目的として設置された委員会で、第1回臨時会中の5月18日(休)に委員会が開催されました。その際、正副委員長の互選が行われ、委員皆様からのご推挙をいただきまして本委員会の委員長を仰せつかることとなりました。

今定例会中の6月20日(火)午前10時より、早速、第1回の委員会が開催され、はじめに総務局危機管理部より「防災・減災対策を見据えた本市の現状と諸問題について」概要説明をいただき、6月2日(金)・3日(土)に大雨に見舞われた「令和5年台風第2号の対応について」は、新庁舎の危機管理センターを活用した災害対応等のご説明をいただきました。

その後、今期の委員会の進め方及び調査項目について協議が行われ、自主防災組織の結成促進等による「地域における災害対応力の向上」、災害時に正確かつ迅速な情報収集・発信を行うための「地域との連絡体制強化」、また、防災意識の向上に向けた「防災教育」や「避難所の整備について」等、全委員からご意見をいただき、大変活発な協議となりました。



防災・減災対策調査特別委員会終了後

いただいたご意見を参考にしながら、また、調査を進めていく中での新たな課題等についてもしっかりと対応しながら、市民の皆さまにより良い「防災・減災対策」をご提示できるよう委員会を進めて参る所存です。

今年も多くの皆様のご来園があり、千葉駅と千葉公園を結ぶ飲食店街では、どのお店も多くのお客様で賑わい、会場内のフードカーにも行列ができていました。会場内では、蓮華亭及びハス池内のウッドデッキ、さらには綿打池の水上ステージで、タップダンスや演劇、オーケス

YohaS(夜ハス)2023開催!



トラや様々なジャンルの音楽演奏のほか、体験型デジタルアートの演出もありました。本祭前後の、6月7日・8日・11日・12日(19時〜21時)にはライトアップも行われ、夜の街を彩っていました。夜ハスは、すべての年代の方々が楽しめるイベントとなり、本市における夜間の経済・文化活動の振興として代表的なイベントとなっております。今後、アフターコロナの地域経済活性化に向けて期待いたします。

【表面より続く】
計上されました。
条例議案は、「千葉市市税条例の一部改正について」や「千葉市保健所条例の一部改正について」等、一般議案は、「財産の取得について(消防防災ヘリコプター)」等が提出されました。諮問の1及び2については、「下水道使用料の賦課決定処分の変更を求める審査請求を棄却することについて」で、請願は「千葉市子ども医療費助成制度の助成対象を18歳まで拡充を求める請願」及び「市立学校の給食費無償化を求める請願」でした。

これらにつきましては常任委員会審査を経て、最終日に委員長報告討論採決が行われ、すべての議案は可決、諮問は異議ない旨の答申、請願は不採択となりました。
また、追加議案の人事案件につきましては、農業委員会委員17件及び人権擁護委員1件の計18件で、全員協議会での議案研究の後、委員会付託省略で採決され、すべて同意となり、最後に、発議審議では「帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について」1件が上程され、委員会付託省略で採決となり、可決されました。

花見川区の諸問題について

令和5年6月15日(木)午前10時過ぎ、花見川区三角町にあるスポーツ施設「こてはし温水プール」において塩素ガスが発生し、施設利用者や同建物内にある高齢者施設の利用者ら、433人が屋外に避難するといった事態となり、一時現場は騒然といたしました。
記者発表によると、地下1階の機械室で水質管理の作業をしていた施設職員の男性が、殺菌に使うアルカリ性の「次亜塩素酸ナトリウム」をタンクに補充する際、誤って酸性の「ポリ塩化アルミニウム」を入れたため塩素ガスが発生したとのことでした。



こてはし温水プール・花見川いきいきプラザ

私も3日後の6月18日(日)、同施設を訪問し支配人に確認したところ、「当事者の職員が喉の痛みを訴えていたが自宅療養しているが体調も安定しており、ほかには具合が悪くなられた方やけが人はなかった。」とのこと

で一安心いたしました。また、温水プール他の施設もすでに稼働しており、親子連れなど来館者の皆さままで賑わっておりますが、今後も施設をご利用される皆様へ安全・安心にご使用いただけますよう、適正な管理をしていただけるようお願いいたしました。